



平成 25 年 4 月 25 日

各 位

会社名 株式会社 北洋銀行  
 (コード番号 8524 東証第 1 部・札証)

### 平成 25 年 3 月期通期の連結業績予想の修正並びに業績の概要(速報値)について

平成 24 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 25 年 3 月期通期(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)の連結業績予想について、下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。併せて平成 25 年 3 月期通期の業績の概要について、現時点における見通し(速報値)を下記の通りお知らせいたします。

なお、平成 24 年 10 月 1 日付で株式会社北洋銀行(以下、「北洋銀行」という。)と株式会社札幌北洋ホールディングス(以下、「札幌北洋ホールディングス」という。)は北洋銀行を存続会社として合併いたしましたので、平成 24 年 3 月期通期(連結)については札幌北洋ホールディングス連結の実績値を記載しております。また平成 25 年 3 月期通期(連結)については札幌北洋グループ連結の速報値を記載し、参考値として札幌北洋ホールディングス連結の前年同期との比較数値を記載しております。

記

#### 1. 連結業績予想の修正

(1) 平成 25 年 3 月期通期(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(単位: 億円)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,592	226	180	41 円 46 銭
今回修正予想 (B)	1,622	301	193	46 円 59 銭
増減額 (B) - (A)	30	75	13	—
増減率 (%)	1.8	33.1	7.2	—
(ご参考) 平成 24 年 3 月期	1,722	494	241	60 円 78 銭

#### (2) 業績予想の修正理由

平成 25 年 3 月期は貸出ボリュームの増強に努めたほか、業績予想より利回り減少幅が小さかったことから当初予想以上の資金利益を確保した事に加え、経費の減少や信用コストが予想を下回って推移したこと等を反映し、平成 25 年 3 月期通期の経常利益は 301 億円と前回予想比 75 億円の増益となる見通しであり、業績予想を上方修正いたします。

なお当期純利益については 193 億円と、前回予想比 13 億円の増益となる見通しです。

## 2. 損益の概要【 札幌北洋グループ連結 】

- 平成 25 年 3 月期通期の連結コア粗利益は 1,126 億円と前年比 25 億円の減少となる見通し。利回り低下に伴う預貸金収支の減少から資金利益が前年比 20 億円減少したことに加え、団体信用生命保険料等の役務費用増加によって役務取引等利益が前年比 3 億円減少したこと等によるもの。
- 連結コア業務純益は 383 億円の見通し。経費圧縮により前年比 8 億円の増加となった。
- 経常利益は 301 億円と前年比 193 億円の減少となる見通し。一般貸倒引当金の戻入益が減少したこと、株式の減損処理等により有価証券等関係損益が減少したことを主因とするもの。
- 当期純利益は 193 億円と前年比 48 億円の減少にとどまる見通し。前年の法人税制改正による影響が軽減され、法人税等調整額が減少したことを主因とするもの。

### 【札幌北洋グループ連結】

\* 平成24年3月期は札幌北洋ホールディングス連結の実績

(単位：億円)

	平成24年3月期 (実績*)	平成25年3月期 (速報値)		平成25年3月期 当初予想	当初予想比
			前年比(参考値)		
経常収益	1,722	1,622	△ 100	1,592	30
連結コア粗利益	1,151	1,126	△ 25	1,147	△ 21
資金利益	925	905	△ 20		
役務取引等利益	194	191	△ 3		
その他業務利益	31	30	△ 1		
経費(除く臨時処理分)	776	743	△ 33	774	△ 31
連結コア業務純益	375	383	8	372	11
信用コスト	△ 62	78	140	160	△ 82
有価証券等関係損益	45	△ 14	△ 59	0	△ 14
経常利益	494	301	△ 193	226	75
当期純利益	241	193	△ 48	180	3

※ 連結コア粗利益 = 資金利益 + 役務取引等利益 + その他業務利益 - 国債等債券関係損益  
 信用コスト = 貸倒償却引当費用 = 一般貸倒引当金繰入額 + 貸倒損失額 - 償却債権取立益  
 有価証券等関係損益 = 国債等債券関係損益 + 株式等関係損益 + 金銭の信託運用損益  
 連結コア業務純益 = 連結コア粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

### 【ご参考：北洋銀行単体】

(単位：億円)

	平成24年3月期 (実績)	平成25年3月期 (速報値)		平成25年3月期 当初予想	当初予想比
			前年比		
経常収益	1,414	1,321	△ 93	1,300	21
連結コア粗利益	1,079	1,067	△ 12	1,081	△ 14
資金利益	923	905	△ 18		
役務取引等利益	147	151	4		
その他業務利益	8	10	2		
経費(除く臨時処理分)	761	728	△ 33	760	△ 32
連結コア業務純益	317	338	21	321	17
信用コスト	△ 78	63	141	130	△ 67
有価証券等関係損益	47	△ 9	△ 56	0	△ 9
経常利益	455	277	△ 178	205	72
当期純利益	241	179	△ 62	170	9

### 3. 主要勘定残高【単体】

- ・ 資金量末残は個人預金、法人預金の増加により、7兆1,920億円と前年比633億円の増加となる見通し。
- ・ 預かり資産末残は8,291億円と前年比470億円の増加となる見通し。
- ・ 貸出金末残は全ての主体向け貸出が増加し5兆6,327億円と前年比2,046億円の増加となる見通し。
- ・ 有価証券は1兆5,619億円と前年比339億円の増加となる見通し。

(単位：億円)

	平成24年3月末 (実績)	平成25年3月末 (速報)	前年比	
			前年比	年率
資金量	71,287	<b>71,920</b>	633	0.8%
預かり資産	7,821	<b>8,291</b>	470	6.0%
貸出金	54,281	<b>56,327</b>	2,046	3.7%
有価証券	15,280	<b>15,619</b>	339	2.2%

※ 資金量 = 預金+譲渡性預金

預かり資産 = 公共債保護預かり+投資信託+個人年金保険等(販売累計額)

### 4. 金融再生法開示債権【単体】

- ・ 金融再生法開示債権は1,604億円と前年比156億円の減少となる見通し。
- ・ 開示債権比率(部分直接償却後)は、2.09%と前年比0.41ポイント改善となる見通し。

(単位：億円、%)

	平成24年3月末 (実績)	平成25年3月末 (速報値)	前年比
			前年比
破産更生等債権	595	<b>603</b>	8
危険債権	866	<b>756</b>	△110
要管理債権	298	<b>244</b>	△54
金融再生法開示債権 (開示債権比率)	1,760 (3.17)	<b>1,604</b> (2.78)	△156 (△0.39)
※部分直接償却後 (開示債権比率)	1,379 (2.50)	<b>1,199</b> (2.09)	△180 (△0.41)

※ 当グループでは部分直接償却未実施ですが、参考として部分直接償却を実施した場合の計数を記載しております。

開示債権比率=金融再生法開示債権÷総与信×100

## 5. その他有価証券の評価損益【単体】

- その他有価証券の評価損益は1,102億円と前年比494億円の増加となる見通し。

(単位：億円)

	平成24年3月末 (実績)	平成25年3月末 (速報値)	
			前年比
その他有価証券	608	<b>1,102</b>	494
株式	189	<b>342</b>	153
債券	273	<b>241</b>	△ 32
その他	146	<b>518</b>	372

<ご参考>

	平成24年3月末	平成25年3月末	前年比
日経平均株価 (円)	10,083	<b>12,397</b>	2,314
新発10年国債利回り (%)	0.985	<b>0.560</b>	△ 0.425

以 上

業績速報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想等であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績は、様々な原因によりこれらの業績速報値とは異なる可能性があります。